

事務事業名	海洋センター管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課 スポーツ文化振興室
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	スポーツ文化振興G	課長名 原田 憲一
	施策名	〈30〉生涯スポーツの振興		担当者名	三島 祐一	電話番号:0854-40-1073 (内線) 2241
	目的対象	市民	意図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。		
	基本事業	〈088〉スポーツ環境の充実		予算科目	0:150:0:1 3:0:1:0:2:0	大事業名 体育施設管理事業 中事業名 海洋センター管理事業
目的対象	市民	意図	スポーツ活動に親しむ。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	施設を利用することにより、体力の向上、健康増進等が図られ、交流を通して人づくり・地域づくりに繋げる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・加茂B&G海洋センター ラソンの施設管理運営(指定管理施設) ・基本協定及び年度協定に基づく指定管理委託料の支払い ・施設管理業務に関わる指定管理者との協議 ・修繕が必要となった場合の予算措置、契約 など
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①指定管理料算定事務 ②年度協定締結業務 ③指定管理料支払い ④利用促進に関する協議 ⑤修繕対応 ⑥指定管理の更新手続き	H30年7月にリニューアルオープンし、健康づくり拠点施設として運営している。利用者を増やすため利用促進キャンペーンや啓発に努めた。また、安心安全で質の高いサービス提供による利用促進のため、運営委員会を組織し協議した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 施設利用者数	人	47,123	55,719	56,966	60,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
委託料	52,529千円(指定管理料)	財源内訳	国庫支出金	千円				
備品購入費	387千円		県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	52,056	51,995	52,916	53,904
		事業費計	千円	52,056	51,995	52,916	53,904	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・(株)キラキラ雲南と指定管理協定により施設管理を行っている。(令和4年度は単年度協定) ・スポーツに関する自主事業を実施し利用者からは一定の評価を得られている。
② 事業実施するうえでの課題	・指定管理者制度の導入により事務量の大幅な軽減、適切な管理・運営が行われている。 ・新型コロナウイルス感染症対策を施した運営となっていたため、換気、消毒の徹底、利用者間の距離や利用時間などの制限を設けた対応を行ってきた。今後の利用増への取り組みが必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・健康づくり拠点施設として雲南市立病院や身体教育医学研究所との連携も図られている中で、今後は体力づくり、健康づくりの目的のほか、健康増進や介護予防を目的とした施設としての利用の向上が望まれる。そのため多くの方に施設の利用を促し活用いただく運営方法や魅力ある運動メニュー等を検討していく必要がある。 ・上記の施設活用を充実させるため、厚生労働省から健康増進施設認定を受けた。